

# 学校マネジメント

## 目標達成マネジメントツールの一層の活用

[取組事例] 津久見市立堅徳小学校、児童数82名、大分教育事務所管内

### ポイント

客観的なデータと妥当な指標設定に基づく検証・改善プロセスが明確な「学校評価の4点セット」

## 1. 取組の内容

### 学校評価の4点セットの様式例

#### 4点セット(重点目標・達成指標・重点的取組・取組指標)の検証・改善

学校教育目標		夢や目標をもち、よく考えがちな、心豊かでたくましく生きる児童の育成			重点的取組(取組指標)・達成指標 1学期の検証と改善				
重点目標	担当	達成指標	重点的取組	取組指標	実施率	取組の測定・検証	達成指標の測定・検証	2学期に向けた改善	
<b>確かな学力の定着</b> <small>「確かな学力の定着」(1学期末調査) (1学期末調査) (1学期末調査)</small>	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業の内容がよくわかる」と肯定的に回答する児童の割合を95%にする。</li> <li>単元末テストで期待点未満の児童の割合を20%以下にする。</li> <li>全国規模の学力調査で全学年国語算数共に標準スコア52を達成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活用力の育成をめざした「堅徳小スタイル」の授業実践</li> <li>補充学習の充実</li> <li>家庭学習習慣の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員が学期に1回「自力解決」と「ペア・一斉学習」を意識した提案授業と5回の互見授業を行う。</li> <li>読解力問題を週末課題とし、「水曜日」のスキルタイムで解説をする取組を全学年で每週行う。</li> <li>【家庭】「堅徳小学びの一步」を基に、家庭学習(学年×10+10分)ができたかどうか点検する。</li> <li>【学校】「自主学習のてびき」を作成して学年に応じた自主学習に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100% 実施期間を設定したことで計画が立てやすくなり、全員の互見授業を実施することができた。各自が授業を見合う中で、授業改善の方向性を探ることができた。(まとめて向かう学び合いへ導く方法に焦点化)</li> <li>80% 読解力問題を週末課題として取り組んできているが、毎週実施を100%にすることはできなかった。</li> <li>60% 児童、保護者アンケートによる約70%の達成率。「自主学習のてびき」の作成ができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100% 「授業の内容がよくわかる」と肯定的に回答する児童 → 1学期末調査 89%</li> <li>○ 単元末テストで期待点未満の児童の割合 → 7月調査 国語21% 算数23%</li> <li>○ 大分県学力調査の偏差値 → 国語57.5 算数56.5 理科53</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【達成指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>継続する</li> </ul> </li> <li>【重点的取組・取組指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>計画通りに提案授業(月1回)による授業改善の実施</li> <li>日常の授業における堅徳小スタイルの実践</li> <li>読解力問題を週末課題にすることの習慣化</li> <li>「自主学習の手引き」を作成し、学年に応じた自学をスタートする。</li> <li>授業がよく分かっていない児童の把握と個別指導の</li> </ul> </li> </ul>		
		<b>自尊感情の醸成</b> <small>「自尊感情の醸成」(1学期末調査) (1学期末調査) (1学期末調査)</small>	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分にはいいところがある」と肯定的に回答する児童の割合を100%にする。</li> <li>「学校・学級が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を95%にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ほこち山花いっぱい活動」に取り組む</li> <li>「人権の花運動」に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学級に「ほこち山花いっぱい」コーナーを作り、互いのよさを見つけて認め合いをさせる。</li> <li>前期・後期で一人一鉢の花を育てさせ、お世話になった方々へ花を贈ることで感謝の気持ちを育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100% 友だちの良さを見つけて「ほこち山に花を咲かせよう」という取組は100%できた。</li> <li>100% 「人権の花運動」で、各学年が花を育てる活動ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分にはいいところがある」と肯定的に回答する児童 → 1学期末調査 83%</li> <li>○ 「学校や学級は楽しい」と肯定的に回答する児童 → 1学期末調査 92%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【達成指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>継続する</li> </ul> </li> <li>【重点的取組・取組指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>1人1人のめあてをしっかりと持たせ、達成した姿を子ども同士で互いに認めあえるような取組を進める。</li> <li>結果や出来映えだけではなく、苦手なことに向かって努力している姿などにも目を向けた花を咲かせ、みんなに紹介していく。</li> <li>「人権の花」を届けたときの様子などを児童会を通じて全校に伝える。</li> </ul> </li> </ul>
				家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA懇談による児童理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【家庭】 毎学期、PTA懇談で我が子の頑張りを伸ばし、伸ばしを見つける。</li> <li>【学校】 「おいた親の学びプログラム集」を活用して、子どもとの係わりを振り返る場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100% 「ほこち山花いっぱい活動」をPTA懇談会で紹介したり、通信などで保護者にも知らせたりしたので、99%の保護者が子どもの花を見ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校や学級が楽しい」と肯定的に回答する児童 → 1学期末調査 93%</li> <li>○ 「早寝・早起きができて」と肯定的に回答する児童 → 1学期末調査 71%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【達成指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>「運動が好きだ」と肯定的に回答する児童の割合 93%</li> </ul> </li> <li>【重点的取組・取組指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>中休みに5分間走を設定し、個人目標を持たせて持久走に取り組む。(持久走カード配布)</li> <li>第2回生活見直し週間の実施。</li> <li>委員会の児童による子ども達からの「早寝・早起き」啓発活動の実施。</li> <li>PTA懇談会、学級通信などによる保護者への啓発活動。</li> </ul> </li> </ul>
<b>体力・健康づくり</b> <small>「体力・健康づくり」(1学期末調査) (1学期末調査) (1学期末調査)</small>	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>「運動が好きだ」と肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</li> <li>「早寝・早起きができて」と肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で、年間サーキット運動に取り組む(一枚一実践)</li> <li>生活習慣の点検・指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に応じた運動に、学年目標・個人目標を設定して全学年で取り組む。(1学期水泳 2学期マラソン 3学期長なわ 等)</li> <li>生活見直しカードを活用した「生活見直し週間」を学期に1回実施し生活改善指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100% 水泳の個人目標を設定し、それに向かって頑張ることができた。</li> <li>70% 生活見直しカードの取組は100%実施できたが、生活改善指導の徹底はできていない。</li> <li>60% 家庭によって取組の差があった。寝る時刻と起きる時刻を守れていると回答した保護者は75%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動が好きだ」と肯定的に回答する児童 → 1学期末調査 93%</li> <li>○ 「早寝・早起きができて」と肯定的に回答する児童 → 1学期末調査 71%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【達成指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>「運動が好きだ」と肯定的に回答する児童の割合 93%</li> </ul> </li> <li>【重点的取組・取組指標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>中休みに5分間走を設定し、個人目標を持たせて持久走に取り組む。(持久走カード配布)</li> <li>第2回生活見直し週間の実施。</li> <li>委員会の児童による子ども達からの「早寝・早起き」啓発活動の実施。</li> <li>PTA懇談会、学級通信などによる保護者への啓発活動。</li> </ul> </li> </ul>		

重点目標の達成に近づく妥当な指標設定

評価(C)→改善(A)への検証・改善サイクルの確立



## 2. 取組についての評価等

- (1) 学校の喫緊の課題を踏まえた重点目標の達成に近づく妥当な指標設定ができています
- (2) 客観的なデータを用い、取組状況の確認や達成状況の確認を行った上で、検証・改善を行うサイクルが確立しています